

木の人形(キコりん)

森で集めた枝を使って、かわいい人形を作りましょう。
ヒートンを使って木と木を組み合わせれば、いろいろな作品ができます。



| 対象 | 実施時期 | 定員 | 所要時間 |
|-----------|--------------------------------|---------------------|------|
| 小学生以上 | 通年 | 10~80人 | 2時間 |
| 利用者持ち物 | プラザ貸し出し備品 | 材料 | |
| 軍手・持ち帰りの袋 | のこぎり・木ねじビット・ナイフ・ラジ オペンチ・ゴミ袋 | 木片・飾りひも・ヒートン・目玉・ボンド | |

ねらい

- ・想像力や表現力を高める。
- ・名栗の自然物を使った思い出の作品を作る。
- ・道具の使い方を身に付ける。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

- ◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
- ◆説明は当所職員が行います。

以降は、団体で進行してください

準備

- ① 体験する子ども達、もしくは団体指導者の方に、作業台（丸太イス）を準備していただきます。
※1 作業台につき、1~3 名程度
- ② 各自にヒートン（11個）・目玉（2個）を配布します。のこぎり・ナイフは安全上、班代表者にまとめて渡します。代表者は数を確認してください。
- ③ 各自使う木片を数本選びます。

実施

- ① 作るものが決まったら、使う木片をのこぎりで切ります。
※のこぎりは素手で、木をおさえる手は軍手を着用し、周囲に人がいないことを確認して使います。
- ② 切った部分をナイフで削って形を整えます。
※このときもナイフは素手で、木を持つ手は軍手を着用します。
- ③ 木片を繋げるためヒートンをねじ込みます。難しい場合は、木ねじビットで穴をあけましょう。
※木片に木ねじビットを差し込み、木片のほうを回して穴をあけるようにします。
- ④ 繋げ合わせたい一方のヒートンをペンチで開いて、輪をつなぎ合わせます。
- ⑤ ヒートンを繋げ合わせたら、ペンチを使って開いたヒートンを元のように閉じます。
- ⑥ 形が出来たら飾りひもを通すためのヒートンをねじ込み、最後にボンドで目玉を固定します。
※ヒートンは飾りひものため1つ残しておきます。
※ボンドが乾くまで5~10分程度かかるのでそのまま置いておきます。
- ⑦ 飾りひもを通します。
※当所職員は、団体指導者の方と共に安全管理やアドバイスをさせていただきますが、活動が落ち着いたタイミングで、お声がけさせていただいた上で、事務室へ戻ります。何か不明点などあれば、事務室へお声が

ください。

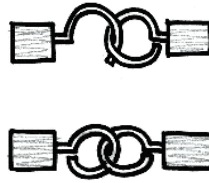
③



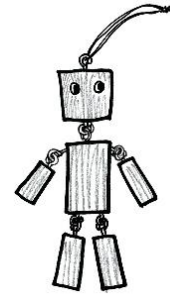
④



⑤



⑥⑦



片付け

- ① 道具類は所定の場所に戻します。
※のこぎり・ナイフの返却は数を確認の上、貸出同様にまとめて返します。
- ② 使用した作業台を元あった場所に戻します。
- ③ 下に落ちた木くずやゴミを掃除します。ゴミは当所職員が用意したゴミ袋にまとめてください。
※片付けが終了したタイミングで、使用した場所の確認、作成した個数の確認を当所職員が行いますので、事務室へお声がけください。

まとめ

- 作品を披露しましょう。
- ふりかえり

留意点

- 飾りひもは、汗などによって色落ちする場合がありますので、注意しましょう。
- ボンドで固定されるまで5～10分程度かかるので、触らずに置いておきましょう。
- ナイフとノコギリを使用する人は、道具を持つ手とは反対の手に必ず軍手をつけてください。

SDGs への取組

- 国産間伐材を使うことで、森の豊かさへの貢献ができます。
- 自分で作ったクラフトに愛着を持つことで、モノを大切にできる気持ちを育めます。

